

# 平成31年度 社会福祉法人べっぷ優ゆう 事業報告書

## 1. 法人の活動状況

平成31年度（平成31.4.1～令和2.3.31）は、改元の年でもあり、また現在も続いている新型コロナウイルスの脅威に社会経済が本質的なところで揺さぶられる幕開けの一年でもありました。

私たちは、「防災」の次に「防疫」という日常からは距離のある、しかも難題に取り組まなければならなくなりました。

どちらの問題にも共通し、避けて通れない性質を持つのは、人の生死に、そして結果として地域や法人のような共同体の生死にかかわるテーマだからです。

今回は、幸運なことにべっぷ優ゆうの関係者で感染された方は一人もおられませんでしたが、私たちは根っこに同じ問題を抱えているけれども現象的には正反対の状況を経験しました。

障害者が利用する就継B型や生活介護の、普段と変わらない熱心な仲間たちの通所利用の一方で、障害児が利用する放課後等デイサービスでは、国から発出された「学校休校」、「自宅待機」により前年同期の半数利用と、事業所運営が成り立たないレベルまで活力が低下してしまいました。

もしも、障害者が利用するサービスでも「自宅待機」を要請されたとしたら法人の運営はどうなるのでしょうか。

そこに法人べっぷ優ゆうの利用の仲間にとっての存在意義だけではなく、地域社会にとっての役割や存在性が問われているのだと思います。法人べっぷ優ゆうは特定の利用者（児）への支援を通して、地域での役割や期待を担うべく考え行動する過渡的なステージにあると思います。また、そのようなステージで地域の中で「存在感」が認知されなければ生き残っていけないだろうと思います。

平成31年度の事業計画に基づいて1年の成果や取組みを振り返るにあたり、この「地域資源としての障害福祉への取組み」といった観点も求められるのではないのでしょうか。

法人は、多機能型作業所（就継B型、生活介護）、放課後等デイサービス、共同生活援助（短期入所含む）、相談支援（計画、障害児）の7つの福祉サービスで構成されていますが、業績面では学校休校の影響により放課後等デイサービスで事業指定後初めての赤字となり法人全体では多機能型作業所が竹の内拠点の他の事業所及び本部を支える形となっています。

その中であって共同生活援助及び相談支援事業では、赤字ではありますが前期に比べ相当の改善がなされたことは評価されます。

## (1) 事業の実施概要と成果

### ①事業所としての重点課題

- ・多機能作業所では、「分場」による施設の分散化を検討してきましたが、新たなコスト発生を埋め合わせる分譲先の事業が開発できずとん挫しています。顧客開拓、新商品投入などの努力も現状の売上水準を維持するので精一杯で、結果的に、2月よりクッキーグループでは作業時間を全員4時間に戻す措置で収支バランスを凶らざるを得ませんでした。
- ・放課後等デイサービスの利用確保については、学校、教職員、相談支援事業所等様々なネットワークを頼り働きかけを行ってまいりました。前半では利用契約も前期並みに回復もみましたが実際の利用ベースでは規模縮小とならざるを得ませんでした。
- ・グループホームでは、管理者の交代や退職者もあって職員スタッフの確保と配置に苦心しました。職員はその日その日のスケジュールに追われ、生活ニーズに寄り添うところまでには隔たりがありました。
- ・ショートステイの利用予約について、申込順等の不公平な取り扱いをなくし複数の委員で検討・決定する仕組みに変更し定着させています。

### ②国や行政、地域社会への働きかけ

- ・べっふ優ゆうを支える市民の会総会では、多機能作業所での日常を紹介し、地域社会での障害者福祉を考えるシンポジウムを企画し、12月には恒例のきずなコンサートを開き、障害者理解の機会を市民に提供することができました。
- ・きょうされんへの連携は、利用者活動（なかまネット）が主となり、支部主催の学習会にも参加しましたが、大分開催の九州ブロック学習交流会はコロナ感染の影響で中止となり残念な状況が続いています。
- ・情勢等勉強会については、時間構成の制約もあり機会を設けることはできませんでした。

### ③事故防止の取組み

- ・「安全な支援のための手引き」やヒヤリハットの取組みは、職員会議（部門、全体）や研修場面などで生かす組立がないと浸透させていくのは難しいと思われまます。これからの工夫改善が求められところです。
- ・避難、防火訓練については、放課後等デイでは所定の2回実施しています。内竈拠点は津波、火災訓練は実施したものの地震避難はコロナ感染対応を優先し中止せざるを得ませんでした。ホームは夜間想定火災訓練を実施、地震避難は未実施のままです。
- ・事故ではないですが、12月に利用の仲間が病死（心原性脳梗塞、発症から2日後）されたことは大変残念なことです。高血圧気味であったこともあり健康管理の大切さを改めて認識させられました。

### ④職員の専門性及び資質向上

- ・外部研修(12件)のうち、放課後等デイ参加10件を除くと2件で多機能事業所は低調でした。情報としては2-3件ありましたが対象者、時期等タイミングが合わず機会を逸しました。放課後等デイでは、系統だった多くの研修機会を構成し、熱心な職員参加がうか

がえます。研修の体験や情報も含め利用児童家族へのPR活動にも生かされると研修効果も上がると思います。また、ホームの職員には機会提供できず参加の方法も含め次期課題として持ち越しとなりました。

- ・ 所内研修は、多機能事業所、放課後等デイ（下半期）とともに系統だって日々の支援へ反映され定着してきていると感じられます。職員の集合自体が難しいホームでは所内研修の形にこだわらない研修方法を計画することが必要と思われます。
- ・ 職員会議では、方針伝達（相互理解）、情報共有（話題への反応）、課題構築（役割意識醸成）などテーマの性質により会議の目的が変わりますので効果的な運営を期待しています。
- ・ 次年度で中規模の異動を計画していたため、対象者を中心に短期間で面談を実施しました。年2回の職員面談は他の業務との関係もあり、実施困難な状況でした。

#### ⑤作業や活動を通しての仲間支援

- ・ 作業に仲間のもつ力を合わせるのではなく、仲間合うあるいはできそうな作業を組立て、作業方法や道具の改良を含めチャレンジしやすい環境を提供し達成感ややりがいにつなげるサポートを心がけているようです。
- ・ 仲間の表情や動作に目配りし、記録し（クッキー）楽しく作業するための支援に生かしています。
- ・ 組合せが無理だったメンバー（クッキー）、参加できなかったメンバー（紙漉）が集団として作業できるようになったことは頼もしい成長の証です。

#### ⑥生産性・売上の向上、工賃アップ

- ・ 目標 18,000 千円（クッキー12,000、紙漉き 6,000）に対し実績 17,793 千円（クッキー10,964、紙漉 6,318）で、コロナ感染の影響による年度末の落ち込みを考慮するとほぼ目標水準となりましたが収益は依然として改善されず、2月より作業時間をすべて4時間とし、実質の工賃引き下げに踏み切らざるを得ませんでした。
- ・ 「販売企画」の部署を活性化させ、新商品の開発投入、商品の改善等で既存商品の落ち込みをカバーする効果はありました。また、製造では居場所をつくれなかった仲間の作業場としても定着しています。
- ・ 次年度展開に向け、新しい販路開拓を目指してEC（電子商取引）の取組みを始めました。

### (2) 事業収支及び財産の状況（一般会計）

#### ①資金収支計算（H31.4.1～R2.3.31）

千円

	決算	補正予算 31. 11	差異
事業活動収入	126,494	125,866	628
事業活動支出	116,817	118,304	△1,487
事業活動資金収支差額	9,677	7,561	2,116
施設整備等資金収支差額	△3,633	△5,112	1,479
その他の活動資金収支差額	243	△61	304
予備費	0	0	0
資金収支残高	45,775	41,874	3,901

②資産・負債比較 (R2. 3. 31)

千円

	当期 R2. 3	前期 H31. 3	増減
流動資産	48,891	43,700	5,192
固定資産	141,671	150,140	△8,469
資産合計	190,563	193,840	△3,277
流動負債	6,405	7,500	△1,095
固定負債	31,825	35,097	△3,271
負債合計	38,230	42,597	△4,367
純資産	152,332	151,242	1,090
負債、純資産合計	190,563	193,840	△3,277

(3) 今後取り組むべき課題

- ①事業所としての重点課題(多機能、放課後等デイ、ホーム)
- ②事業の生産性と組織・人事
- ③事故防止の取組み
- ④職員の専門性及び資質向上
- ⑤国や行政、地域社会への働きかけ

2. 事業別の活動概要

(1) 実施事業の種類及び利用実績等

①就労継続支援B型		事業所番号	4410200069		
平成26年10月24日指定		定員	26名	契約数	38名
開所日数	253日			期首契約数	38名
延べ利用日数	6,641人日(6,478)	日平均利用数	26.2人/日		
年給付費	44,409,690円	平均日給付	6,687円(31予6,482円)		
備考	開設 平成19.1.1(単独指定として)				

②生活介護		事業所番号	4410200069		
平成26年10月24日指定		定員	6名	契約数	13名
開所日数	249日			期首契約数	13名
延べ利用日数	1,607人日(1,439)	日平均利用数	6.5人/日		
年給付費	12,953,300円	平均日給付	8,060円(31予7,988円)		
備考	開設 平成22.7.1(多機能の指定事業所として)				

③放課後等デイサービス		事業所番号	4450200144		
平成26年10月23日指定		定員	10名	契約数	16名
開所日数	241日			期首契約数	14名
延べ利用日数	1,662人日(2,053)	日平均利用数	6.0人/日(8.5)		
年給付費	15,800,780円	平均日給付	9,507円(31予9,520円)		
備考	開設 平成25.1.1				

④共同生活援助(グループホーム)		事業所番号	4420201685	
平成30年3月20日指定		定員	8名	契約数 8名
開所日数	357日			期首契約数 8名
延べ利用日数	2,262人日(2,278)	日平均利用数	6.2人/日	
年給付費	27,558,899円	平均日給付	12,183円(31予11,152円)	
備考	開設 平成30.4.1			

⑤短期入所(ショートステイ)		事業所番号	4410201679	
平成30年3月20日指定		定員	2名	契約数 29名
開所日数	363日			期首契約数 25名
延べ利用日数	702人日(375)	日平均利用数	1.9人/日	
年給付費	4,291,760円	平均日給付	6,113円(31予6,121円)	
備考	開設 平成30.7.1			

⑥相談支援		契約：(者)62 (児)10 (計)72名		
年給付費	3,151,930円	(2,152,400)		
地域移行、地域定着相談支援				
平成26年10月24日県指定	事業所番号	4430200628		
特定相談支援(サービス継続利用、更新等)				
平成26年10月30日市指定	事業所番号	4430200628		
障害児相談支援(サービス継続利用、更新等)				
平成26年10月30日市指定	事業所番号	4470200181		

(2) 多機能作業所(生活介護、就継B型)、放課後等デイサービス事業所、グループホーム(ショートステイを含む)事業所の各事業総括は本報告書末尾に添付。

(3) 苦情、事故

- ・苦情受付           なし
- ・事故報告           なし

### 3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 令和1.5.26 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・H30年度事業報告について
- ・H30年度決算及び監査報告について
- ・理事及び監事の候補者選定について
- ・評議員会の開催日程について
- ・就業規則及び給与規定の改定について
- ・施設管理者の異動について

- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（次回理事会日程）

第2回理事会 令和1.6.23 5名出席

- ・理事長の選出について
- ・その他（県指導監査の結果報告、前回理事会での用語質問に対する回答、次回理事会の日程、退職金支払債務の原資として定期預金（2百万円）を造成する件）

第3回理事会 令和1.11.17 6名出席

- ・職務執行状況報告について
- ・H31年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び期末手当支給の概要について
- ・新規車両（リース）の取得について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（12月1日付機構改革及び人事異動、評議員会日程・議題、次回理事会日程）

第4回理事会 令和2.3.8 5名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・令和2年度事業計画及び組織機構について
- ・令和2年度予算について
- ・変形労働時間制と超過勤務対応について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（次回評議員会の日程と議題）

(2) 評議員会

第1回評議員会 令和1.6.23 5名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・H30年度事業報告について
- ・H30年度決算及び監査報告について
- ・理事及び監事の選任について
- ・就業規則及び給与規定の改定について
- ・施設管理者の異動について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（次回評議員会日程）

第2回評議員会 令和1.12.1 6名出席

- ・職務執行状況報告について
- ・H31年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び期末手当支給の概要について
- ・新規車両（リース）の取得について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（12月1日付機構改革及び人事異動、次回評議員会日程・議題）

第3回評議員会 令和2.3.22 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・令和2年度事業計画及び組織機構について
- ・令和2年度予算について
- ・変形労働時間制と超過勤務対応について
- ・理事長専決事項の報告について
- ・その他（次回評議員会の日程と議題）

4. 職員研修の状況

研修名称・テーマ等（主催者）	日時	参加者
（1）事業所内研修		
1 多機能事業所職員研修 [テーマ]自己肯定感・自己有用感・ 自己決定能力を育む集団づくり	・各部門の会議で事例検討 ・毎第一金発表、討議 ・隔月全体研修、外部講師講話	・所属部門全員参加
2 放課後等デイ職員研修 利用児童を対象とし、経過観察・課題整理・ 支援実行・振り返りの手順で進める	・9月より月1回研修 ・3名をテーマとした	・全員
3 グループホーム	・毎月1回職員会議	・問題事例の対応確認
（2）外部研修		
1 県介護研修センター「中堅職員研修」	令和1.5.8-9	齋藤
2 救急救命講習	令和1.7.9	長谷川、中西、北野、高石、池本
3 虐待研修	令和1.9.27 10.30	長谷川、大海
4 別府市こども支援部会研修会「言葉の発達段階の正しい理解と通所事業所のできる支援」	令和1.10.15	長谷川、中西、北野、高石、池本
5 障害者虐待防止法（子ども中心）共生社会の実現に向けて（別府市の取り組み）	令和1.11.12	長谷川、中西、北野、高石、池本
6 東部圏域児童発達支援ネットワーク研修会「発達に支援を必要とする子供たちが地域で楽しく過ごせるように」	令和1.11.16	長谷川
7 きょうされん大分支部 管理者・職員研修	令和1.11.29-30	永松、瓜生田、齋藤、大海
8 発達障がい児等心のネットワーク推進事業「より早期での発達障害の気づきと支援研修会」	令和1.12.10	北野、池本
9 全障研大分支部「知ってもらいたい私たちのこと」	令和2.1.13	北野、高石
10 子どもの支援を学ぶ会「発達障害の理解と対応について」	令和2.1.31	長谷川
11 別府市こども支援部会 事例発表・事例検討会	令和2.2.10	長谷川、中西、北野、高石、池本

12	発達障がい児等心のネットワーク 推進事業 講演会「大分っ子 みんな な違って、みんないい」	令和2. 2. 15	高石
(3) 総合支援法等制度関連研修			
1	大分県：サービス管理責任者研修（ 介護）	令和1.7.18-19	永松
2	大分県：サービス管理責任者研修（ 地域：知的・精神）	令和1.7.19 9.26	板井
3	大分県：強度行動障害支援者養成研 修	令和1.9.24-25 9.30- 10.1	中西
4	大分県：サービス管理責任者更新研 修	中西 令和1.12.6	長谷川 令和2.1.17

## 5. 借入金

- (1) 独立行政法人福祉医療機構 金額¥30,000,000 償還 20年 利率 0.55%  
当期元本償還¥1,548,000 支払利息¥152,183 期末残高¥26,832,000
- (2) 株式会社日本政策金融公庫 金額¥12,000,000 償還 7年 利率 0.85%  
当期元本償還¥1,740,000 支払利息¥74,802 期末残高¥8,265,000

## 6. 補助金

- (1) その他の補助金
- ・大分県労働局 職場定着助成金(リフト、入浴装置)  
\*R2.1.22 助成金交付 ¥1,306,176

## 7. 登記事項

- ・令和 1.7.1 資産総額の変更（平成 31年 3月 31日現在、151,242,367円）
- ・令和 1.7.1 役員（理事長）就任

## 8. 監査

- (1) 法人監事による監査
- ・令和 2.5.27 決算書、預貯金残高、リース契約等会計方針確認
- (2) 大分県及び別府市等関係行政による監査
- ・なし